

1 部会での活動

東海市環境基本計画における環境ビジョン「未来につなぐ 美しいふるさと東海」を実現するため、私を含む部会メンバー5名は、3R推進協議会（全委員13名）に参画し、委員としての活動を中心に取り組んできました。

活動の重点として、3R（リデュース：発生抑制、リユース：再使用、リサイクル：再生利用）のまちづくりを推進するため、平成23年度～32年度の「第3次東海市ごみ処理基本計画」（平成23年3月発行）の策定に向けて、平成21年度・22年度の2年間かけて、それぞれの立場から提案や意見交換をしてきました。

2 第3次ごみ処理基本計画策定に向けての主な活動内容

(1) 3R推進対策とごみ処理・処分の現状認識と検討

各委員から日頃感じているごみ処理・処分等の問題点を抽出して、現状課題を共有したうえで、課題解決に向けた取り組みの検討をしました。

委員から出た課題件数は、

- ① 3R推進（3件）
- ② ごみ不法投棄（2件）
- ③ リサイクル（3件）
- ④ 集積場所（9件）
- ⑤ ごみ・資源分別（8件）
- ⑥ ごみ指定袋（5件）。



(2) 減量目標値の設定

活動の基本理念と3つの基本方針を策定したうえで、第5次東海市総合計画 後期基本計画（平成21年度～平成25年度）、東海市環境基本計画（平成19年度～28年度）、東海市ごみ処理基本計画（平成14年度～22年度）、東海市人口推計、東海市の過去10年の実績値等を総合的に勘案し、「頑張れば達成できる（＝頑張らなければ達成できない）目標」を設定しました。



【第3次ごみ処理基本計画の目標値】

区 分	単 位	H21 年度 (実績値)	H25 年度 めざそう値 (総合計画)	H32 年度 (目標値)
市民一人1日当たりの総排出量	(g/人・日)	1,033		943
市民一人1日当たりの家庭系ごみ排出量	(g/人・日)	593	550	500
資源回収率	(%)	22.9	30.0	30.0

(3) ごみ減量対策のアイデアの提案・検討

ごみ減量対策のアイデアを委員から募集し、市のアイデアとあわせて、第3次ごみ処理基本計画への反映、今後の市の施策として活用していくための検討を実施しました。

【第3次ごみ処理基本計画期間内の主な取り組み内容】

基本方針	主な取り組み内容
市民や事業者の3R活動に対する意識が高まる	<ul style="list-style-type: none"> ・事業者、単身者、外国人向けの情報提供 ・ごみ減量キャンペーンの実施 ・ごみ減量講座の開催、学習プログラムの充実 ・市民団体との連携
3R活動体制が積極的に行われる体制が確保される	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみ指定袋制度の継続 ・「リサイクルプラザ」の調査研究 ・ごみ手数料の見直し ・市の率先行動 ・公共施設での資源回収推進、集団回収団体の拡大 ・地域での3R活動推進
ごみが適切に処分される	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみ集積場所の環境保全・新設時の指導 ・効率的な収集運搬の安定的実施 ・次期中間処理施設の基本構想策定 ・不法投棄への迅速・厳正な対応



3. 活動を通しての感想と今後の期待

日常の生活を営むうえでは、ごみは必ず発生します。ごみの発生を抑制するために、ごみ処理基本計画を策定し、3Rを推進しています。

平成22年度までの「第2次ごみ処理基本計画」では、目標値に対して未達の実績もありますが、計画を策定した当時との比較においては、ほとんどの項目に改善が見られます。これもひとえに清掃センターが市の中心的な役割を果たして、活動してきた成果であると思っています。

今回、廃棄物・リサイクル部会の委員として、「第3次ごみ処理基本計画」の策定に向けて、それぞれの立場から提案や意見交換をして、ごみ問題を真剣に考える機会を与えていただいたことにより、私を含め委員の意識も大いに向上したものであると思っています。

今後は、委員をはじめ市民一人ひとりが地域の主体となり、「できることから始める小さな活動の輪」を地道に継続的に広げていくことにより、東海市が、今以上に「美しいまち」となることを期待します。

さらには、市民主体の3R活動が、ごみ問題同様に、CO2削減・エネルギー問題（特に電力）へも展開され、定着することにより、「ムダのない、住みよい暮らしよい東海市」となることを祈念します。

以上